

中1数学 出題のねらいと対策

1 小学校計算 88.8%

ねらい：整数、小数、分数の四則計算ができるかをみる。

分析と対策：(1)計算の順番は「かけ算やわり算→たし算やひき算」です。(3)(4)は通分や約分に注意して計算しましょう。帯分数は仮分数になおして計算します。

2 正負の数の計算 73.8%

ねらい：正負の数の加減、乗除、四則計算ができるかをみる。

分析と対策：(1)同符号の2数の和は、絶対値の和に共通の符号をつけたもの、異符号の2数の和は、絶対値の差に絶対値が大きいほうの数の符号をつけたものです。減法は加法になおして計算します。(2)正負の数の乗除では、負の数が奇数個なら答えは負、負の数が偶数個なら答えは正です。(3)(4)計算の順番は「かっこ→かけ算やわり算→たし算やひき算」です。累乗の計算の方法を確かめておきましょう。

3 素数、素因数分解 67.5%

ねらい：素数の知識の定着や、素因数分解の理解度を問う。

分析と対策：素数の定義を教科書を読んで確認しておきましょう。素因数分解を用いた最小公倍数や最大公約数の求め方を復習しておきましょう。

4 速さ・割合・比 74.2%

ねらい：速さ・比・割合の基本事項の定着度をみる。

分析と対策：速さの公式、速さや時間の単位の変え方、割合の公式、等しい比の性質などについて確かめておきましょう。

5 速さ・割合・比の応用 65.8%

ねらい：速さ・比・割合の文章題に取り組む力をみる。

分析と対策：(2)自分で図を書いて、速さ・道のり・時間についてわかることを整理しましょう。(3)15%引きになる弁当が何個あるかを考えましょう。

6 図形 42.5%

ねらい：角、面積、体積など、小学校で学習した図形分野全般の定着度をみる。

分析と対策：(1)正三角形や折り返した図形にできる等しい角を利用します。(3)四角柱の展開図で側面の部分の長方形の横の長さは、底面の周りの長さと同じです。

7 正負の数の意味・利用 53.4%

ねらい：正負の数の基本事項の定着と応用力をみる。

分析と対策：(2)逆数とは、その数との積が1になる数のことです。(3)実際に数をあてはめて計算してみましょう。

全体の平均点は 60.7点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。